



地域運営学校 「学ぶ・鍛える・思いやる」

自主の庭

八王子市立城山中学校 学校だより

令和8年1月 第10号

新年の御挨拶

副校長 大山 健一

新年あけましておめでとうございます。令和8年（2026年）は素晴らしい晴天に恵まれた年明けでした。新しい1年の始まりとともに、学校としては令和7年度を締めくくる最後の学期が始まりました。

さて、今年は「午年」です。この「午」という字、干支として見るのは12年に1度ですが、日常では毎日といつていいほど見ています。「午前午後」など時刻を表す文字として使われています。この「午」という字は、一日の中で正午（真昼）を表しています。この時間は、太陽の光が最も強くなる時間帯、つまり陽のエネルギーが満ちるタイミングだと言われています。さらに今年は、十干（じっかん）の丙が合わさり「丙午（ひのえうま）」と呼ばれる年にあたります。ともに陽、火の性質をもつ丙と午が重なることで勢いがある良い年とされています。年の初めに立てた目標の達成に向けて、前向きで勢いのある1年を過ごしたいですね。



今年はオリンピック、パラリンピックイヤー

「オリンピック、パラリンピック」と聞くと、夏の大会をイメージする人が多いかもしれません、今年は冬の大会が開催されます。会場はイタリア北部のミラノとコルティナ・ダンペツツォです。コルティナ・ダンペツツォというあまり聞いたことのない人が多いと思いますが、実は1956年にも冬季オリンピックが開催された都市です（当時、パラリンピックはまだありませんでした）。冬季大会として第7回となったこの大会は、日本人選手が初めてメダルを手にした大会でもあります。

北海道の国後島で生まれた猪谷千春（いがやちはる）さんは、日本スキーの草分けでもある父のもと、2歳頃からスキー板を履いて練習に励んだと言われています。良い雪を求めて日本の各地を移り住む中で、時には丸太の上を歩いたり、雪が積もった屋根の上を滑ったりと様々な練習を積んできたそうです。競技スキーといえば欧洲が強く、当時の日本はまだまだ発展の途中でした。練習する場所も使える道具も限られる中で、様々な工夫を凝らし自らを高めていった猪谷選手の努力に対して、畏敬の念を覚えます。先人たちの取り組みから多くのことを学ぶとともに、今年の冬季オリンピックに出場する選手たちの活躍に胸を熱くする、そんな体験をしてほしいと思います。

スキー移動教室（第1学年） 1月14日（水）～16日（金）

長野県の菅平高原で2泊3日のスキー移動教室を行いました。天候にも恵まれ、充実したスキー講習になりました。保護者の皆様、事前の準備等ありがとうございました。

実施中の様子



学校での出発式



開校式



講習開始



緊張のリフト



まずは基本から



宿舎での講習



上達しました！

部活動改革、令和8年度の活動について

八王子市では、「部活動は学校で行われるもの（学校が担うもの）」という認識を転換し、「地域の子どもは地域で育てる」仕組みづくりを目指して部活動改革を進めています。

本校においても今年度より段階的に改革を進めてまいりました。令和8年度においては、

サッカーチームの活動に変更が生じます。サッカーチームとしての活動を終了し、地域クラブチームへ移行いたします。

「運動系ゆるやかに親しむ部」の「軽スポーツ部（仮）」が発足します。また1、2年生を対象に野球部への入部意向アンケートを実施しましたが、市の部活動改革の方針にあわ

せ、部活動の新設については見送ることとなりました。御理解のほどお願い申し上げます。